

現代の万博とグローバル化の中の都市

—大阪 1970 と 1990 からドバイ 2020、そして大阪・関西 2025 へ—

岡田 朋之

エキシビションとツーリズム研究班 主幹研究員
関西大学 総合情報学部 教授

はじめに

本報告は、2025 年に大阪での 3 回目の国際博覧会（万博）の開催が予定されていることを踏まえ、これまでに開催された 1970 年の日本万国博覧会（大阪万博 1970）、1990 年の大阪国際花と緑の博覧会（大阪花の万博 1990 = 花博、国際園芸博）の 2 つの国際博覧会に続く流れのもとで開催されることの位置づけと、地域の発展にいかに関与しうるかについて、2021 年から 2022 年にかけて開催されたドバイ国際博覧会をふりかえりつつ、乗り越えるべき課題を検討していくものである。

1. 現代の万博

1851 年のロンドン国際博覧会に始まる万博は、19 世紀から 20 世紀にかけては開催国と各参加国の国威発揚という性格を強く帯びていたが、21 世紀をまたぐ頃に大きな転換点を迎えた。グローバリゼーションの進展と ICT（情報通信技術）の発展により、20 世紀末にはそれまでのような博覧会の開催意義が薄れ、予定されていた万博の相次ぐ中止、開催された万博も想定の人出を大きく下回るなど、もはや万博はその役割を終えたのではないかという声もささやかれるようになった。

こうした情勢を踏まえ、国際博覧会事務局（BIE）は、1994 年に開催された第 115 回総会において、「すべての博覧会は、現代社会の要請に応えられる今日的テーマを持たなくてはならない。テーマは、開催国と BIE の合意にもとづき、正確かつ明確に定められることとする」という決議第 1 号、そして、博覧会は環境負荷の低減と、レガシーの利用を重視すべきとする決議第 2 号を議決し、それまでの国威発揚型とされる形態から、人類共通の問題に向き合う課題解決型の博覧会へと舵を切った。

このあとに開催が決まった愛知万博（2005 年）は地球環境問題への取り組みをテーマとして開催され、内外で高く評価される成功を収めた。その後に開催された万博もそれぞれのテ

マのもとに開催され、グローバル化の中での開催都市のブランディングに大きな意味を持つイベントとなっている。

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

今日では万博をはじめとして、オリンピック／パラリンピック大会、あるいはFIFA（国際サッカー連盟）ワールドカップ大会等のメガイベントにおいて、インフラ（都市基盤）整備とレガシー（遺産）の活用が重要な課題とされる。それでは大阪でこれまでに開催されたふたつの万博、1970年万博と1990年花博ではどうだったであろうか。

1970年の大阪万博の開催にあたっては、都市基盤の整備として交通網の充実が図られたことが大きな意義を持ったとされる。大阪国際空港におけるB滑走路やターミナルビルの整備、地下鉄網での堺筋線開業および阪急電車との相互乗り入れ開始、北大阪急行の開業、近鉄大阪難波駅開業といった鉄道網の整備がなされたほか、東海道新幹線が16両編成化されたのもこの時からで、道路網でも新御堂筋の建設、御堂筋などの大阪市内中心部主要道の南北一方通行化、名神高速道路の吹田インターチェンジの開業がこの機会におこなわれた。また会場内のレガシーとしては、博覧会開催にあたって世界各地から収集された民族学資料を展示する国立民族学博物館や、会期中から開館していた大阪日本民藝館、国立国際美術館（その後中之島に移転）などの文化施設がそれにあたる。

1990年の花博では、交通インフラとしては地下鉄鶴見緑地線が整備され、レガシーとしては会場となった鶴見緑地は今でも公共の公園施設として憩いの場となっている。また駐車場跡には大阪鶴見花き地方卸売市場が建設され、花卉（き）流通の拠点となったほか、博覧会開催を契機に国内の花弁出荷量は大幅な増加がみられ、ガーデニングブームの始まりともされている。しかしながら2022年現在、会場跡地の鶴見緑地に残る国際庭園等の一部施設では整備が行き届かなかつたり、老朽化したりしているために立入禁止となった箇所があり、レガシーが十分に活用されているかどうか、疑問が残る点もある。

3. 2020 ドバイ国際博覧会（UAE＝アラブ首長国連邦）をふりかえる

次に、最近の万博における都市基盤整備と遺産活用の例として、2021年10月1日～2022年3月31日に開催されたドバイ万博を見ておこう。アラブ首長国連邦（UAE）のドバイで中東地域初の万博として開催されたこの博覧会は、東京オリンピック・パラリンピック大会と同様、2020年に開幕予定だったものがコロナ禍により1年遅れとなった。テーマは「Connecting Minds and Creating the Future（心をつなぎ、未来を創る）」、サブテーマとして「Sustainability」「Mobility」「Opportunity」の3つが掲げられ、目標来場者の2500万人には達しなかったものの、さまざまな施策により最終入場者数は2400万人におよんだ。参考までにUAEの総人口が989万人であることを考慮すると、驚くべき数字といえよう。参加国数も192の国と地域におよぶ

という大きな規模であった（参考：2015年ミラノ万博：134、2010年上海万博：192）。

具体的な展示については、現地で視察をおこなった筆者が見た限りでも、来館者が多く詰めかけて人気を博し、またBIEによる審査の評価も高かったドイツ館、日本館、サウジアラビア館などをはじめとして、観る側が積極的に展示に対してインタラクティブに働きかけ、さまざまな学びの体験を得られるようなものが印象的であった。また、ICTにおける試みもさまざまなものが取り込まれていた中で、博覧会の公式スマートフォンアプリの充実ぶりは注目すべき点であった。公式アプリは3種類が提供され、チケット機能とパヴィリオン予約機能を備えた博覧会公式アプリの他に、障害者向けアプリ、そして博覧会としてはおそらく初であろうアドベンチャーゲームのアプリも存在した。さらに興味深いのは、全期間券のプレミアム版を購入したユーザーに提供されるビジネスアプリで、これを用いると全出展者の窓口とSNS的につながることができ、会場に来て商談のためのコンタクトやアポイントを取ることができるというものである。これらを総括するとドバイ万博においては、会場内のオフライン環境と、デジタル上のオンライン環境の両面から、エンターテインメント、ビジネス、学びなどさまざまな情報交流のための「プラットフォーム」を形成するべく全体のデザインがなされていたと結論づけられるだろう。その意味では、博覧会の新たなステージが切り拓かれたともいえる。

閉幕後のドバイ万博は会場施設の8割をそのまま残し、「District 2020」という新しい都市区域を形成することが会期中から提示されていて、閉幕から半年後の2022年10月から「EXPO CITY DUBAI」として再オープンした。今後も経済、文化の新たなセンターとしての発展が期待されており、ドバイ万博はレガシーのあり方としてもひとつのモデルとなり得るものであろう。

4. 2025 大阪・関西万博の課題

ドバイ万博に続き、2025年4月13日から10月13日まで、大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、「People's Living Lab 未来社会の実験場」をコンセプトとして開催される。この博覧会では、近年の大きな流れである参加型重視の傾向を打ち出し、「共創」(co-creation)を掲げているが、具体的にどのように共創していくのか、どのように参加できるのか、十分な説明が開示されているとはいえない現状があり、また開催2年半前の時点でも跡地利用が白紙であったり、多言語の情報発信が十分でなかったりするなど、多くの課題が横たわっている。博覧会の成功のために、また豊かなレガシーを後世に残すためには、これらの問題をできるだけ早いうちに克服していくことが求められる。

参考文献

2025年日本国際博覧会協会 2020『2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」基本計画）』(<https://>

www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/themes/expo2025orjp_2022/assets/pdf/masterplan/expo2025_masterplan.pdf)

- A.エリオット・J.アーリ（遠藤英樹監訳） 2016『モバイル・ライブズ——移動が社会を変える』ミネルヴァ書房
- Gatti, S. ed. 2018, *Expo Milano 2015 Official Report: Italy's Challenge for an Innovative Universal Exposition*, Expo 2015 S.p.A in liquidation
- 加藤晴明・岡田朋之・小川明子編 2006『私の愛した地球博——愛知万博 2204万人の物語』リベルタ出版
- 経済産業省・日本貿易振興機構（ジェトロ）編 2022『2020年ドバイ国際博覧会 日本公式参加記録』日本貿易振興機構（ジェトロ）
- 町村敬志・吉見俊哉編 2005『市民参加型社会とは——愛知万博計画過程と公共圏の再創造』有斐閣
- 岡田朋之 2020「ポスト・モバイル社会における博覧会とツーリズム——スマート、VR・ARの時代におけるメガイベントの意義とは？」関西大学経済・政治研究所『セミナー年報 2019』pp.21~33
- 岡田朋之 2022「参加と関係性構築に向けて——エキシビションとツーリズムへのアプローチ」関西大学経済・政治研究所エキシビションとツーリズム研究班 2022『エキシビションとツーリズムの転回』関西大学経済・政治研究所 研究双書第176冊 pp.1~20
- 吉見俊哉 2010『博覧会の政治学——まなざしの近代』講談社
- 吉見俊哉 2011『万博と戦後日本』講談社

関西大学経済・政治研究所 第252回産業セミナー

現代の万博とグローバル化の中の都市
——大阪1970と1990からドバイ2020、
そして大阪・関西2025へ——

エキシビジョンとツーリズム研究班 主幹
総合情報学部教授 岡田 朋之

はじめに

- ❖ ・大阪での3回目の万博開催
- ❖ 1970年日本万国博覧会（大阪万博1970）
- ❖ 1990年大阪国際花と緑の博覧会（大阪花の万博
1990＝国際園芸博）
- ❖ 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博
2025）

はじめに

- ❖ ・本日の内容
- ❖ 1. 現代の万博
- ❖ 2. 大阪のふたつの万博と持続的発展
- ❖ 3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる
- ❖ 4. 2025大阪・関西万博の課題

1. 現代の万博

- ❖ 国威発揚型から課題解決型へ
- ❖ グローバル化の中での開催都市のブランディング
- ❖

1. 現代の万博

❖ ・万博への逆風

❖ 2000年ハノーファー万博（ドイツ）



写真：ウィキメディア
ア・コモンズより

- ❖ 予想来場者数4000万人に対し、わずか1800万人の来場。
- ❖ 24億マルク（約1200億円）という大赤字の決算

1. 現代の万博

❖ ・万博への逆風

- ❖ 1996年、東京（お台場）で開催予定だった世界都市博覧会が中止に。
- ❖ 「万博というコンセプトが21世紀にも通用するかどうかわからない」
- ❖ （『ニューズウィーク日本版』2000年7月5日号）

1. 現代の万博

- ❖ BIE（国際博覧会事務局）第115回総会における決議（1994年6月）
- ❖ 「すべての博覧会は、現代社会の要請に応えられる今日的テーマを持たなくてはならない。テーマは、開催国とBIEの合意にもとづき、正確かつ明確に定められることとする。」（決議第1号）
- ❖ 環境負荷の低減と、レガシーの利用を重視すべき（決議第2号）

1. 現代の万博

- ❖ 愛知万博（2005年）



開催中の会場（左）と閉幕後の会場（右）
（以下、とくに注記のない写真は筆者撮影）

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

◇ 1970年日本万国博覧会

テーマ「人類の進歩と調和」

……1958年ブリュッセル万博「科学文明とヒューマニズム」

1967年モントリオール万博「人間とその世界」

を踏まえた基本理念→テーマ

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

◇ 1970年日本万国博覧会

インフラ（社会基盤）の整備

- ・大阪国際空港（B滑走路、ターミナル整備）
- ・地下鉄網（堺筋線および相互乗り入れ等）、北大阪急行、近鉄大阪難波駅開業
- ・新幹線16両編成化
- ・新御堂筋、市内中心部主要道の南北一方通行化、吹田IC

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

❖ 1970年日本万国博覧会

国立民族学博物館、国立国際美術館、大阪日本民藝館等の文化施設

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

❖ 1990年国際花と緑の博覧会（花の万博、大阪花博）

テーマ：「自然と人間との共生」

会期：1990年4月1日～9月30日（183日間）

会場：鶴見緑地（面積約140ha、駐車場等関連施設を含む）

入場者：23,126,934人（特別博としては史上最高。日本で開催された万博としても歴代2位）

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展



ウィキメディア・
コモンズより

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

◇ 1990年国際花と緑の博覧会（花の万博、大阪花博）

当初は大阪市制100周年記念事業としての「全国都市緑化フェア」開催を計画したが、建設省（当時）の「緑の3倍増構想」を受けて、国際園芸博覧会の誘致に。

アジアで最初の大規模国際園芸博覧会（A1）＝特別博覧会（現在は認定博）

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

- ❖ 1990年国際花と緑の博覧会（花の万博、大阪花博）

レガシー：

地下鉄鶴見緑地線

大阪鶴見花き地方卸売市場

理念発信団体としての国際花と緑の博覧会協会

花きの出荷量は開催年に大幅増、ガーデニングブームのはじまり

2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

- ❖ ・大阪国際花と緑の博覧会（1990、大阪花の万博）の夢の跡



2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

❖ ・大阪国際花と緑の博覧会（1990、大阪花の万博）の夢の跡



2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

❖ ・大阪国際花と緑の博覧会（1990、大阪花の万博）の夢の跡



2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

- ❖ ・大阪国際花と緑の博覧会（1990、大阪花の万博）の夢の跡



2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

- ❖ ・大阪国際花と緑の博覧会（1990、大阪花の万博）の夢の跡



2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

❖ ・大阪国際花と緑の博覧会（1990、大阪花の万博）の夢の跡



2. 大阪のふたつの万博と持続的発展

❖ ・大阪国際花と緑の博覧会（1990、大阪花の万博）の夢の跡



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ ドバイ万博視察（2021年12月、2022年2月～3月）

❖



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

- ❖ 期間：2021年10月1日～2022年3月31日
- ❖ テーマ：Conecting Minds and Creating the Future
(心をつなぎ、未来を創る)
- ❖ サブテーマ
 - ❖ Sustainability, Mobility and Opportunity
- ❖ 目標来場者：2500万人→最終入場者数：2400万人
- ❖ (参考：UAE総人口989万人)
- ❖ 参加国数：192 (ミラノ2015：134、上海2010：192)

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 会場面積：438ha



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 会場面積：438ha



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

◇ 会場面積：438ha



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

◇ 会場面積：438ha





3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



日本館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



日本館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



日本館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

日本館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

日本館
「Electri-City」



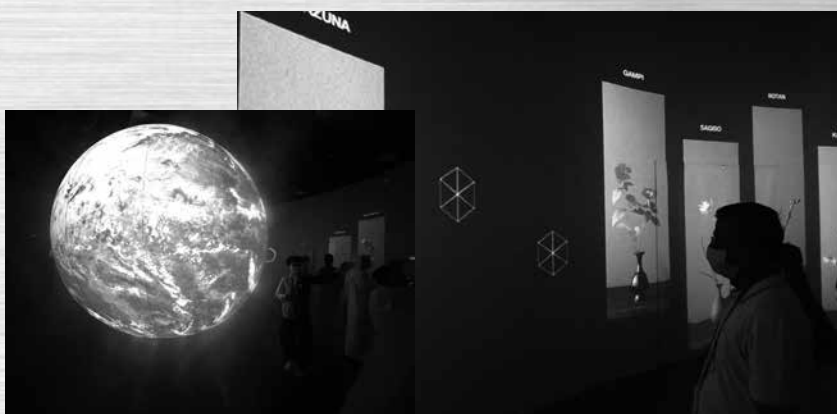
3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

日本館
「クリスマス州プレゼン都」



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

日本館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



日本館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



ドイツ館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

ドイツ館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

ドイツ館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

ドイツ館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

ドイツ館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



ドイツ館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



ドイツ館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

ドイツ館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

ドイツ館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

ドイツ館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

韓国館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

韓国館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

韓国館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



韓国館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる



サウジアラビア館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

サウジアラビア館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

サウジアラビア館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

サウジアラビア館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

サウジアラビア館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

サウジアラビア館



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 中東初の開催



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 中東初の開催



テーマ館：Mobility Pavilion

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

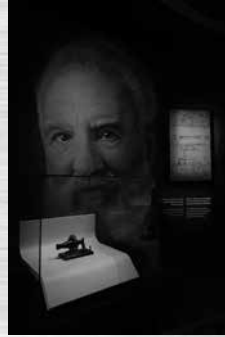
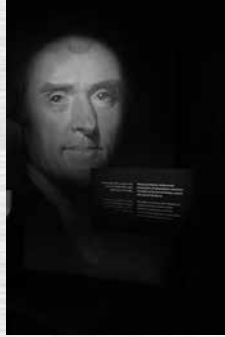
❖ 中東初の開催



ウクライナ館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 学び（教育）



米国館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 学び（教育）



米国館

ギタンジャリ・ラオ
(STEAM教育の伝道者)

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 学び（教育）



エストニア館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

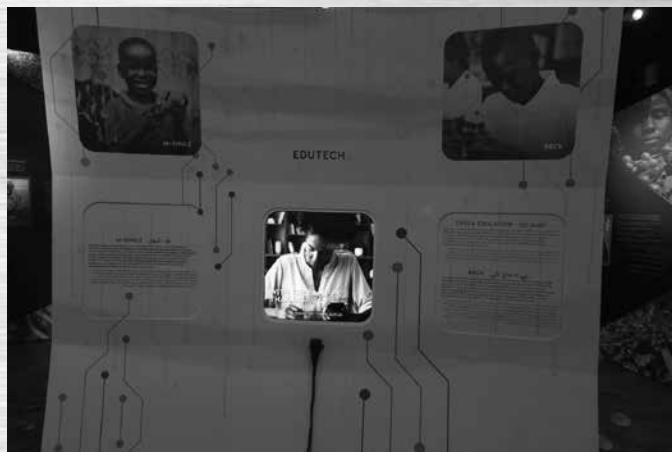
❖ 学び（教育）



フィンランド館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 学び（教育）



ケニア館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

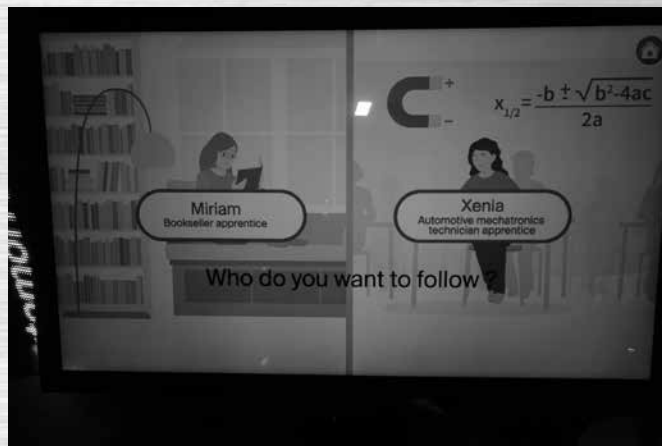
❖ 学び（教育）



インド館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

◇ 学び（教育）



スイス館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

◇ 学び（教育）



フランス館

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 学び（教育）



テーマ館：Sustainability Pavilion

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

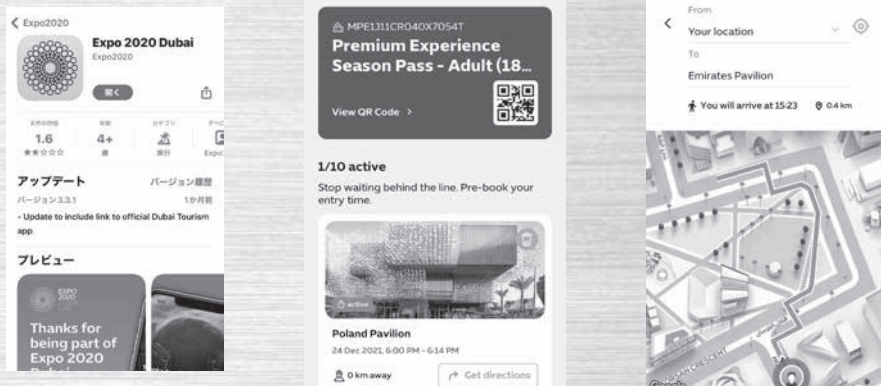
❖ 3つの公式アプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

❖ 「EXPO 2020 Dubai」：チケット機能、予約機能



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

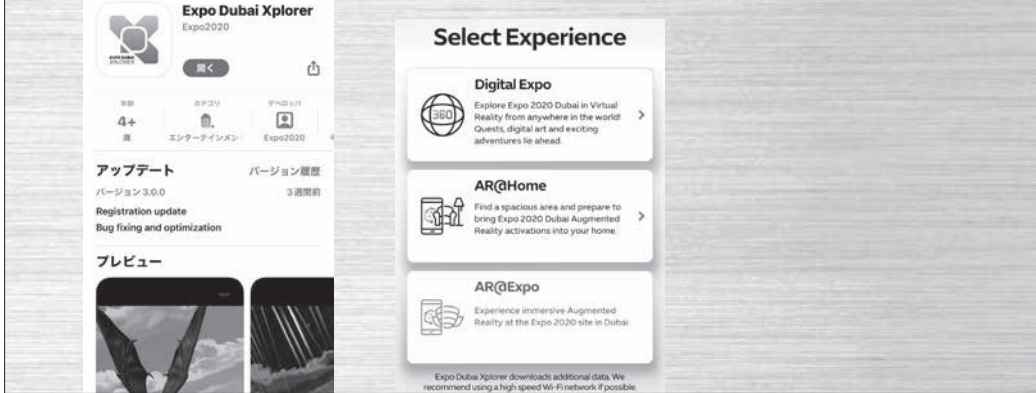
❖ 「PODWay for EXPO」：障害者向けアプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

❖ 「Xplorer」：万博初の公式ゲームアプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

❖ 「Xplorer」：万博初の公式ゲームアプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

❖ 「Xplorer」：万博初の公式ゲームアプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

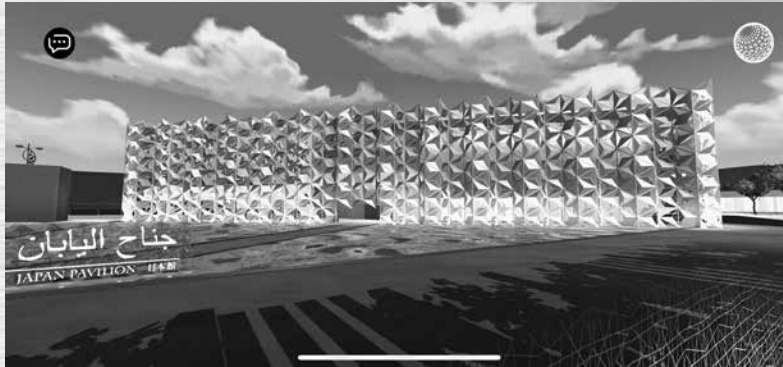
❖ 「Xplorer」：万博初の公式ゲームアプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

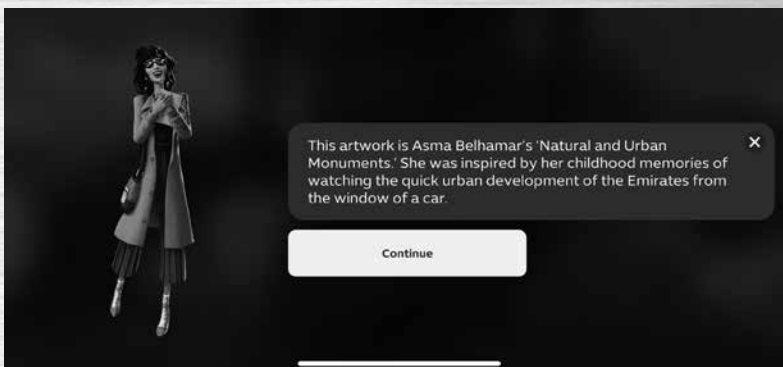
❖ 「Xplorer」：万博初の公式ゲームアプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

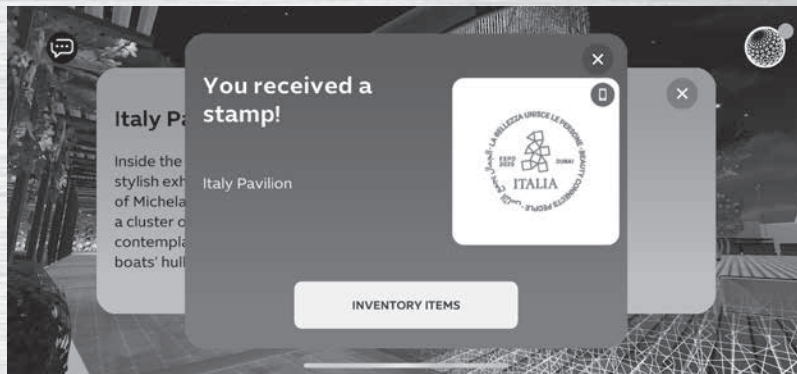
❖ 「Xplorer」：万博初の公式ゲームアプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 3つの公式アプリ

❖ 「Xplorer」：万博初の公式ゲームアプリ



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 「EXPO 2020 Business」：ビジネスプラットフォーム



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 「EXPO 2020 Business」：ビジネスプラットフォーム



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

❖ 「EXPO 2020 Business」：ビジネスプラットフォーム



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

- ❖ ……オンラインとオフラインの両面から、エンターテインメント、ビジネス、学びなどさまざまな情報交流のための「プラットフォーム」を形成。

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

- ❖ EXPO2020 Dubai: 「District 2020」 → 「EXPO City Dubai」



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

- ❖ EXPO2020 Dubai: 「District 2020」 → 「EXPO City Dubai」



3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

- ❖ EXPO2020 Dubai: 「District 2020」 → 「EXPO City Dubai」



ドバイ万博会場図

ドバイ万博公式
サイトより

3. 2020ドバイ国際博覧会をふりかえる

- ❖ EXPO2020 Dubai: 「District 2020」 → 「EXPO City Dubai」

- ❖



ドバイ万博会場図
会場施設の8割を存続
ドバイ万博公式
サイトより

4. 2025大阪・関西万博の課題

- ❖ 交通アクセス問題→完全予約制？
- ❖ 跡地利用はほぼ白紙

- ❖ 「万博跡地の活用指針を」 大阪市長、F1誘致は困難

6/16(木) 20:22 配信 39



大阪市の松井一郎市長は16日、2025年大阪・関西万博の会場となる同市の人工島・夢洲について、22年度中に「万博後の設計図、跡地活用方法のガイドラインを作りたい」との考えを明らかにした。19年に当時市長だった吉村洋文大阪府知事が夢洲への誘致の意向を表明した「自動車レースF1」は、採算面などの課題があり「今の時点では困難」とした。

松井氏は記者会見で、跡地活用について「結構なおファーが来ている。人が住んでいない夢洲はエンタメのポテンシャルが高い」と強調した。F1誘致は経費や開催に合わせた道路整備を課題に挙げ「招致できるという根拠がなかった」と述べた。

Yahoo!ニュース 共同通信
2022年6月16日

4. 2025大阪・関西万博の課題

- ❖ 交通アクセス問題→完全予約制？
- ❖ 跡地利用はほぼ白紙
- ❖ 対外発信と公式参加数

主要な万博のデータ

開催年	開催地	入場者数 (万人)	会場面積 (エーカー)	開催期間 (月)	政府館数	企業館数
1904	セントルイス	1970	1272	6.1	19	-
1915	サンフランシスコ	1890	635	9.8	21	7
1933	シカゴ	4880	500	12	6	9
1937	パリ	3400	424	6	38	6
1939	ニューヨーク	4410	1217	12	22	34
1958	ブリュッセル	4150	500	6	39	15
1964	ニューヨーク	5160	646	12	34	37
1967	モントリオール	5090	1000	6	40	27
1970	大阪	6420	815	6	38	22
2005	愛知	2204	448	6	66	9
2010	上海	7308	1367	6	93	18
2015	ミラノ	2150	272	6	54	9
2021	ドバイ	2400	1080	6	64	4
2025	大阪 (計画)	2820	384	6	50	13

4. 2025大阪・関西万博の課題

- ❖ 交通アクセス問題→完全予約制？
- ❖ 跡地利用はほぼ白紙
- ❖ 対外発信と公式参加数
- ❖ 「共創」 co-creationをうたうが、どのように？

